

**【目的】**

事例をもとに関係機関の支援体制・支援方法などについて意見交換を行い、関係機関が互いの役割等を認識したうえで、連携を深め、今後の事例に活かす。

**【テーマ】**

本人や家族が自ら支援を求められない事例への支援

**【検討内容】**

- ①本人、妻、長男ならびに長女に、今後どのような支援が検討できるのか。
- ②本人や妻の状態に、誰が気づき支援することができたのか。

対象者	本人：40歳男性 自殺歴なし	既往歴	特になし
家族構成	妻：(38歳) 長女：(14歳 中学2年生) 長男：(9歳 小学4年生) 転校後学校に馴染めず、ここ1か月前から不登校。 次女：(5か月)	現病歴	躁鬱病
		<p style="text-align: center;">県外</p>	
生活歴	妻と子供の5人暮らし。1年前に転勤で引っ越してきた。性格はまじめで頑固。趣味はなく、仕事関係以外では友人がいない。近所とも朝挨拶する程度の関係である。亭主関白で妻の言うことは聞かない性格。		
現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・転勤により慣れない職場への配置換えがあり、仕事のストレスにより不眠・頭痛が出現。</li> <li>・仕事は休むことなく行っていたが、徐々に仕事でミスすることが増えてきた。</li> <li>・半年前から精神科に通院。本人だけで病院を受診しており、薬の管理も本人が行っていた。</li> <li>・精神科の主治医には、職場での悩みについて相談が出来ていた。</li> <li>・本人の様子に妻は気が付いていたが、妻が病院に付き添うことを夫は拒否をしていた。</li> <li>・妻は長男のことについても悩み事を抱えていたが、本人に相談することもできず、本人との関係（亭主関白）にストレスを感じていた。また、地域に話ができる友人もいなかったため、孤立した状態となっていた。</li> <li>・妻は長男の学校の担任に対しては、相談ができていた。</li> <li>・些細なことが原因で本人と妻の喧嘩が増え、本人が自宅で暴れることもあり、警察沙汰になることもあった。</li> <li>・ある日、本人が自宅で大量服薬し、救急搬送された。</li> </ul>		
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キーパーソンが不在で、本人や家族が自ら支援を求められない人の場合、SOSが出せず孤立し、周囲の支援を受けづらい状況となる。</li> </ul>		